

# 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8354
担当部課名	保健福祉部	高齢者福祉	課	高齢者福祉 係
事務事業名	敬老訪問事業		事業コード	11220

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	安心して生活できる福祉社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第2節	いきいきとした高齢社会の創造	~63 年度
施策名	第2施策	高齢者の社会参加と生きがいづくり	

2 実施根拠及び関連法令等

「敬老の日」を中心とする行事について (S41.7.12 老人福祉課長通知)
「敬老の日・老人福祉週間」の実施について (H12.8.1 厚生省老人保健福祉局長通知)

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
多年にわたり社会に貢献された高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに、敬老の心を広く市民に普及・啓発する。		市内百歳以上高齢者	
		対象数	38人
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
百歳以上高齢者のお宅を市幹部職員(市長または助役)が訪問し、記念品を贈呈し長寿を祝う。  ・実施日 平成13年9月13日(木) 午前11時~午後2時 ・訪問者 市長 ・対象者 21人(訪問実施3人) (原則として在宅で面会可能な方で、事前確認で訪問希望のあった方) ・その他 訪問辞退者には後日職員が記念品贈呈		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~ 年度
		なし	

4 評価指標

指標名	訪問実施率(訪問希望者における実訪問者数の割合)	訪問希望率(全訪問対象者における訪問希望者の割合)
指標式	実訪問者数/訪問希望者数×100	訪問希望者数/訪問対象者数×100
指標設定の意図	訪問を実施した方の割合	訪問を希望する方の割合

5 目標と実績

[金額単位:千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	100	100	a 100	b 100	100	
指標	33.3	20.8	c 14.3	d 20.0	20.0	
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	413	286	238	401	338
	人員・時間数	(100h)	(60h)	(60h)	(60h)	(60h)
	人件費	418	250	250	250	250
	その他経費					
	合計	831	536	488	651	588
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 = 85.8%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%> )		
$\frac{a}{b}$	$\frac{100.0}{100.0} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d}$	$\frac{14.3}{20.0} \times 100 = 71.5\%$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$	$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$
理由 :	訪問を希望する方に対しては、全て実施できており達成できている。 なお、希望しない方というのは、特別養護老人ホーム等に入所したり、病院に入院または在宅でもねたきり等で体調が悪い方である。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 B ▼	A : 適応している	理由 :	百歳以上長寿者は毎年少しずつ増えているが、前述のとおり実際は入所、入院またはねたきり等により訪問可能な方は限られている現状で、訪問希望者は少なくなる傾向にある。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	祝品は、記念品的なものとして、ある程度低廉に抑えている。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	満百歳の方には国から祝状と祝品の贈呈があり、県を通じて市からお届けすることありとなっている。また、県も独自に知事訪問を実施している。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 :	訪問希望者は市長訪問に感激されており、来年もまた市長にお会いするという気持ちの張りを持つことができるといことで、ご家族からも感謝されている。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	長寿者を市長が訪問することにより、市の姿勢を示し、市民に対する敬老の精神の普及・啓発に有効と考える。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		<p>説明 :</p> 現行の実施体制が望ましいと考える。
	<p>コスト改善余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		<p>説明 :</p> 年々対象者が増える中、国及び市からの祝品等について、訪問希望しなかった対象者に対し、職員が個別訪問し、直接ご家族に贈呈しているが、宅配便等の利用も検討したい。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	県を含め、多くの市町村で実施している。
	<p>今後の進め方</p> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了		
		説明	当該事業は、高齢者福祉に対する市の姿勢を対外的にアピールすることができるものと思われ、可能な限り継続実施したい。

8 二次評価における変更点

--